



11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。  
 <区分>①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(区分) ④遅れている
(理由) 研究計画段階ではエフォート 25%としていたが、学内業務の多忙によりエフォートを 10%程度しかかけられていないことと、東京都や神奈川県、福岡県、佐賀県の地域支援を行っている事業所に研究協力を求めたが、協力すると回答した事業所が予想よりも遥かに下回っていることが原因と考える。

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

対象者を紹介してもらえる事業所が少ないことから、対象者の人数を削減し、1人の対象者に対するインタビュー回数を増やすこととする。研究1では男性脳卒中障害高齢者40名としていたものを20名とし、研究2で実施する予定である女性脳卒中障害高齢者40名としていたものを20名に変更する。また、訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所だけでなく、訪問マッサージ等個人事業を行っているところにも研究を依頼することとする。 その上で、平成24年度は研究1の対象者を増やしインタビューを実施し、質的に分析することを早急に進めるとともに、「研究2：地域生活する女性脳卒中障害高齢者の生活適応モデルの構築」に取りかかる。
--

13. 研究発表（平成23年度の研究成果）

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

〔雑誌論文〕 計（ 1 ）件      うち査読付論文 計（ 1 ）件

著者名	論文標題				
西野由希子・山田孝	地域生活する男性脳卒中障害高齢者の作業適応と人間関係の変容プロセス				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
作業行動研究	有	第15巻	2011	109～118	
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					

著者名	論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）					

著者名	論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）					

【学会発表】計（ 1 ）件      うち招待講演 計（ 0 ）件

発表者名	発表標 題		
西野由希子・山田孝	地域生活する男性脳卒中障害高齢者の作業適応と人間関係の変容プロセス		
学会等名	発表年月日	発表場所	
作業行動学会	2011年9月18日	首都大学東京（東京都）	

【図 書】 計（ 0 ）件

著者名	出 版 社		
	書 名	発行年	総ページ数
		！ ！ ！	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

【出 願】 計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

【取 得】 計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するw e b ページがある場合は、URLを記載すること。

--